

オーストラリア視察報告(前半)

モナシュ大学(メルボルン)

クイーンズランド工科大学(ブリスベン)

筑波大学附属図書館
嶋田

オーストラリア視察日程

- ◆ 1/27(2/7) モナシュ大学(メルボルン)
- ◆ 1/30 クイーンズランド大学/
クイーンズランド工科大学(ブリスベン)
- ◆ 1/31-2/3 Open Repositories 2006(シドニー)
- ◆ 2/6 オーストラリア国立大学他(キャンベラ)

オーストラリア視察 参加大学

- ◆ 北海道大学 (2名)
- ◆ 金沢大学 (2名)
- ◆ 筑波大学 (2名)
- ◆ 東京大学 (1名)
- ◆ 名古屋大学 (1名)
- ◆ 大阪大学 (1名)
- ◆ 岡山大学 (2名)

モナシュ大学(1)

- ◆ 1960年設立
- ◆ 55,726人の学生(100ヶ国以上)
- ◆ 5,059人の常勤スタッフ
- ◆ 10の学部
- ◆ オーストラリア国内に6つのキャンパス
(国外に2つのキャンパス)

モナシュ大学(2)

- ◆ AARLINによる横断検索
(Metalib/SFX)
- ◆ デジタル登録を義務化・500以上の遡及登録
cf. ADT(Australian Digital Theses Program)
- ◆ ARROW(Australian Research Repositories
Online to the World)への参加
IRソフトにFedoraベースのソフトを使用

モナシュ大学(3)

- ◆ 写真等のビジュアルやサウンドデータがリポジトリの特徴。
- ◆ セルフアーカイブ (Self-Submission) は未実施。3月から予定？
- ◆ リポジトリのデータを研究業績の評価に使用するプロジェクトは現在進行中。RQF (Research Quality Framework) に関連。

クイーンズランド工科大学(1)

- ◆ 1980年代後半設立
- ◆ 40,000人以上の学生
- ◆ 3,500人のスタッフ

QUT(2)

- ◆ リポジトリへの登録は義務だが「強制」ではない(ペナルティーは無い)
- ◆ メリットを強調し、プロセスをできるだけ簡単にして登録しやすくしている
- ◆ 著作権関連や、出版社のポリシーの確認、PDF化は図書館側で
(登録待ちのreview段階で確認)

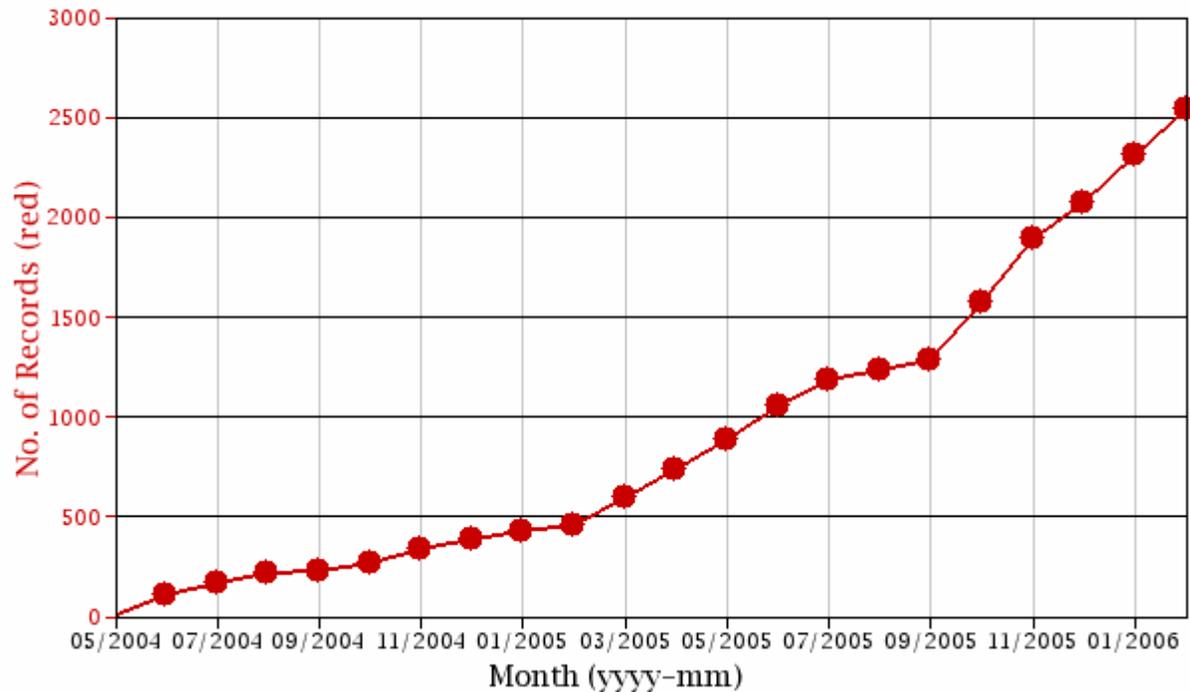
QUT(3)

- ◆ 各学部に対してWorkshopを開いたり、PowerPointやハンドアウトの作成なども
- ◆ リエゾン図書館員の協力によって、研究者とのコネクションを維持している
- ◆ プロモーション用のスタッフ向けページを作成。Open Accessの最新動向や各種プロモーション用資料等をそこから得られるように
- ◆ 図書館全体での支援・協力体制

QUT(4)

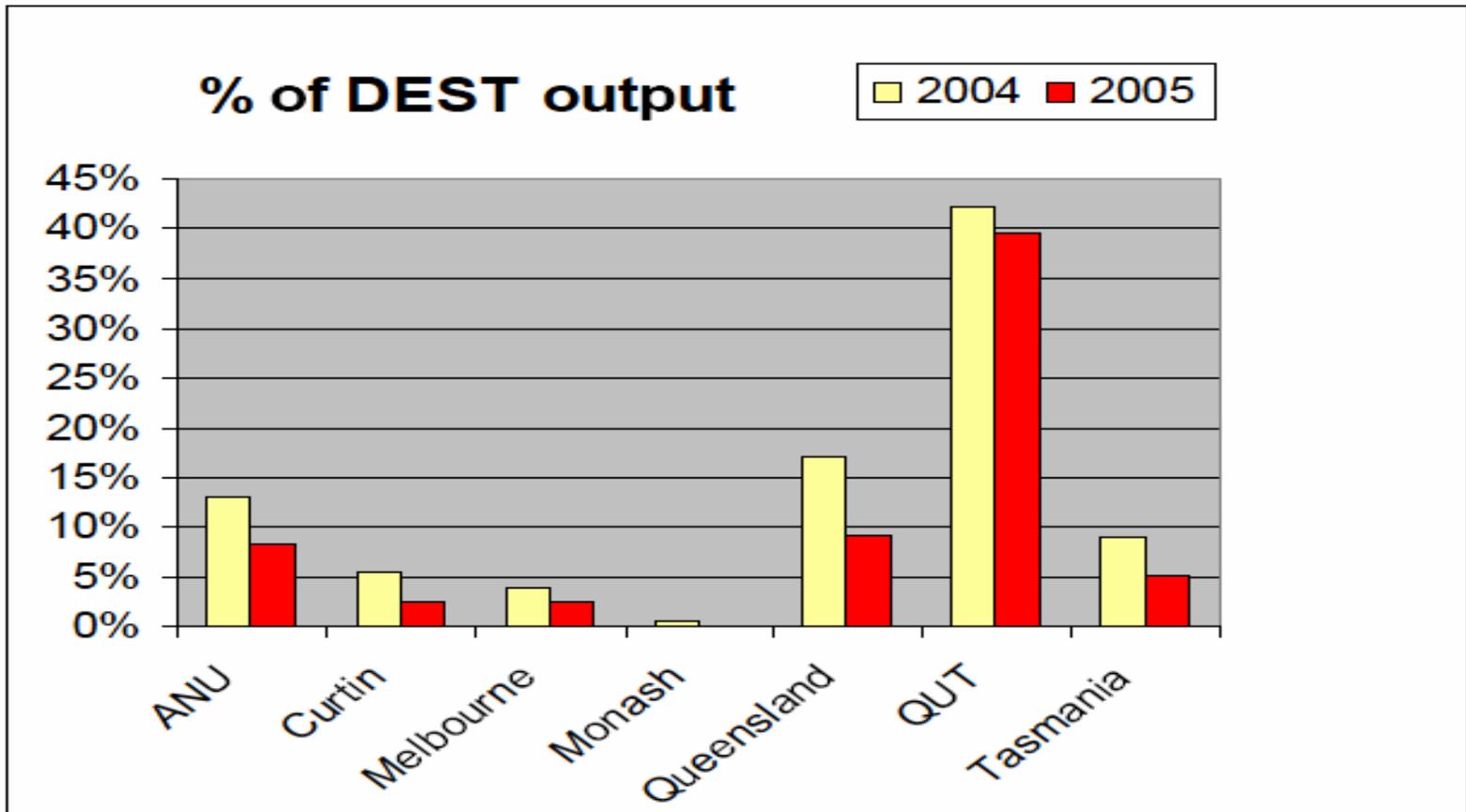
Queensland University of Technology - ePrints Archive

Generated by <http://archives.eprints.org/>



QUTリポジトリのコンテンツ増加の実績

QUT(5)



QUTのリポジットリ投稿率

QUT(6)

- ◆ 登録作業自体はスタッフ1名に2人のアシスタントが付いて3人体制
- ◆ 収書～目録と同じラインに乗っかっている
- ◆ 現在はEPrintsを使用中
- ◆ 2006年中にARROW対応のため、Fedoraベースのソフトへ移行予定

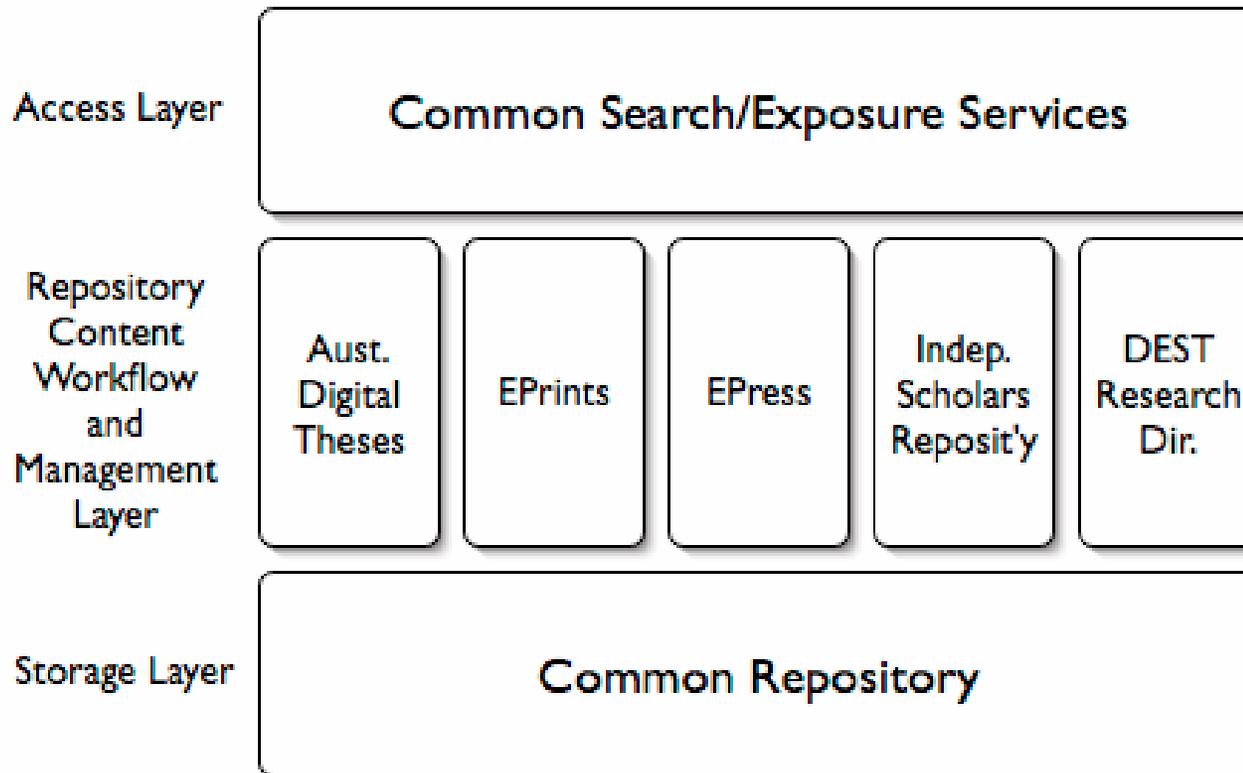
QUT(7)

- ◆ パッケージソフトを入れてアクセス統計(TOP50とか)を出している
- ◆ 統計情報は公式には研究者の評価には使われていない
- ◆ 幾つかの研究科では統計を図書館から得て、アクセス数キリ番の時とかは先生にメールを送ったり、公式に表彰してたりする模様
- ◆ ある化学の先生は、アクセス数が多かったため、それも評価材料として教授になっている

ARROW(1)

- ◆ Arrow Discovery Service
<http://search.arrow.edu.au>
- ◆ 各参加機関よりメタデータをハーベスト
- ◆ 各データの実体は各機関に

ARROW(2)



各参加機関のリポジトリ構成

ARROW(3)

